

報道関係者各位

2026年3月26日
株式会社リビタ

**アートストレージとホテルが融合した『KAIKA 東京 by THE SHARE HOTELS』
才能あるアーティストを発掘する『KAIKA TOKYO AWARD 2026』受賞作品決定
応募総数 353 点より 15 点を選出、大賞に長友 由紀氏**

社会、くらしをリノベーションし、あなたと環境にとって豊かな未来をつくる株式会社リビタ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：長谷川 和憲、以下「リビタ」）は、東京・浅草エリアで運営する、アート作品の公開保管を行うアートストレージとホテルが融合した施設『KAIKA 東京 by THE SHARE HOTELS（読み：カイカ トウキョウ バイ ザ シェア ホテルズ）』において、才能あるアーティストの発掘を目的とした『KAIKA TOKYO AWARD 2026』の受賞作品を決定しました。

本アワードでは、審査員に秋元 雄史氏（東京藝術大学名誉教授）と黒澤 浩美氏（東京藝術大学特任教授）を迎え、応募総数 353 点の中から 3 点の受賞作品と 12 点の入選作品を選出。受賞作品および入選作品の 15 点は 2026 年 3 月より『KAIKA 東京』館内にて約 2 年間収蔵展示されます。

『KAIKA 東京』は、元倉庫ビルをリノベーションし、アートギャラリーの作品保管庫（アートストレージ）を公開する形でホテルと融合させたコンテンポラリーアートの拠点です。本アワードでは、国内外から数多くの人々が訪れるホテルという場での収蔵展示を通じて、アーティストの新たな活動機会の創出を目指しています。

【KAIKA TOKYO AWARD 特設サイト】 <https://www.thesharehotels.com/kaika/award/>



大賞を受賞した長友 由紀氏（中央）と審査員の秋元 雄史氏（左）、黒澤 浩美氏（右）

KAIIKA 東京へのお問合せ、ご質問、取材のお申込み
画像・素材のお貸し出し
株式会社リビタ ホテル事業部 平賀
Tel:070-3873-5075 Mail: pr-kaika@thesharehotels.com

リビタへのお問合せ、ご質問、取材のお申込み
画像・素材のお貸し出し
株式会社リビタ PR コミュニケーションデザイン部 中田・石川
Tel:070-8514-6996 Mail: pr@rebita.co.jp

■受賞作品と審査員選評について

KAIKA TOKYO AWARD 2026 大賞

「生々流転」長友 由紀/Yuki Nagatomo

・審査員選評 秋元 雄史

長友 由紀の「生々流転」は、自身の乳がん治療の経験を契機に、身体や生命の在り方を見つめ直した作品である。人間の身体を原子の結びつきとして捉え、死を自然への回帰として受け止める視点には、深い思索と静かな受容の感覚がある。本作では友禅染の技法が用いられているが、一般に想起される華やかな多色表現とは異なり、黒とグレーを基調とした抑制された色彩によって制作されている。その結果、描かれた人物の線がいつそう際立ち、身体が存在を強く印象づける表現となっている。個人的経験を普遍的な生と死の問いへと昇華している点を高く評価した。

・審査員選評 黒澤 浩美

寒色の水色が広がる地の上に、黒の線描による像が大胆かつ繊細に描かれ、中央の身体像を軸に小像が雲のように連なっていく。独特の秩序と広がり生まれ、地と図像の明確な対比は冷静で静謐な緊張感を画面にもたらしている。光背を思わせる像の反復は仏教絵画を想起させる高い精神性を意識した世界観を立ち上げる。友禅の精緻な線描によって個人的経験を象徴的な図像構造へと昇華している点に、本作の構想力と表現の強度が認められる。

KAIKA TOKYO AWARD 2026 秋元雄史 賞

「HOPE」吉行 鮎子/Ayuko Yoshiyuki

・審査員選評 秋元 雄史

吉行 鮎子の「HOPE」は、日常の感情や気配のようなものをすくい上げ、絵画として提示しようとする試みである。人間の内面には言葉では説明しきれない感情が潜んでいるが、彼女はそれを新しい視点から見つめ直すことで、前向きな感覚へと転換しようとしている。空を見上げたときにふと心が軽くなるような感覚を想起させる本作は、観る者の心の奥に静かに働きかける力を持っている。素直で率直な表現の中に、絵画の可能性を探ろうとする姿勢を評価した。

KAIKA TOKYO AWARD 2026 黒澤浩美 賞

「キルティングのコンポジション」正木 美穂/Miho Masaki

・審査員選評 黒澤 浩美

ビニールのキルティングを切断し、縫合し、平面へ再配置するこの作品は、支持体を所与の面ではなく、生成される皮膜として捉え直している点が興味深い。コラージュ以後の絵画が引き受けてきた異素材の導入を、ここでは触覚の領域へと引き寄せた点が重要である。縫い目は筆致に代わる運動の痕跡となり、柔らかな膨らみは皮膚の感覚を呼び起こす。見る行為を触れる感覚へと静かに転位させる点を、絵画の新たな知覚として考察している。



「生々流転」長友 由紀

1991年 神奈川県生まれ

2017年 東京藝術大学美術研究科工芸専攻染織領域 修了

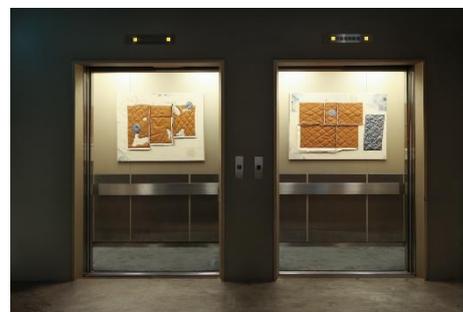
2019年 金沢卯辰山工芸工房 研修者 修了



「HOPE」吉行 鮎子

1986年 岡山県生まれ

2009年 沖縄県立芸術大学卒業



「キルティングのコンポジション」正木 美穂

東京都生まれ

2005年 女子美術大学芸術学部絵画科洋画専攻 卒業

2007年 多摩美術大学大学院美術研究科 修了

KAIKA 東京へのお問合せ、ご質問、取材のお申込み

画像・素材のお貸し出し

株式会社リビタ ホテル事業部 平賀

Tel:070-3873-5075 Mail: pr-kaika@thesharehotels.com

リビタへのお問合せ、ご質問、取材のお申込み

画像・素材のお貸し出し

株式会社リビタ PR コミュニケーションデザイン部 中田・石川

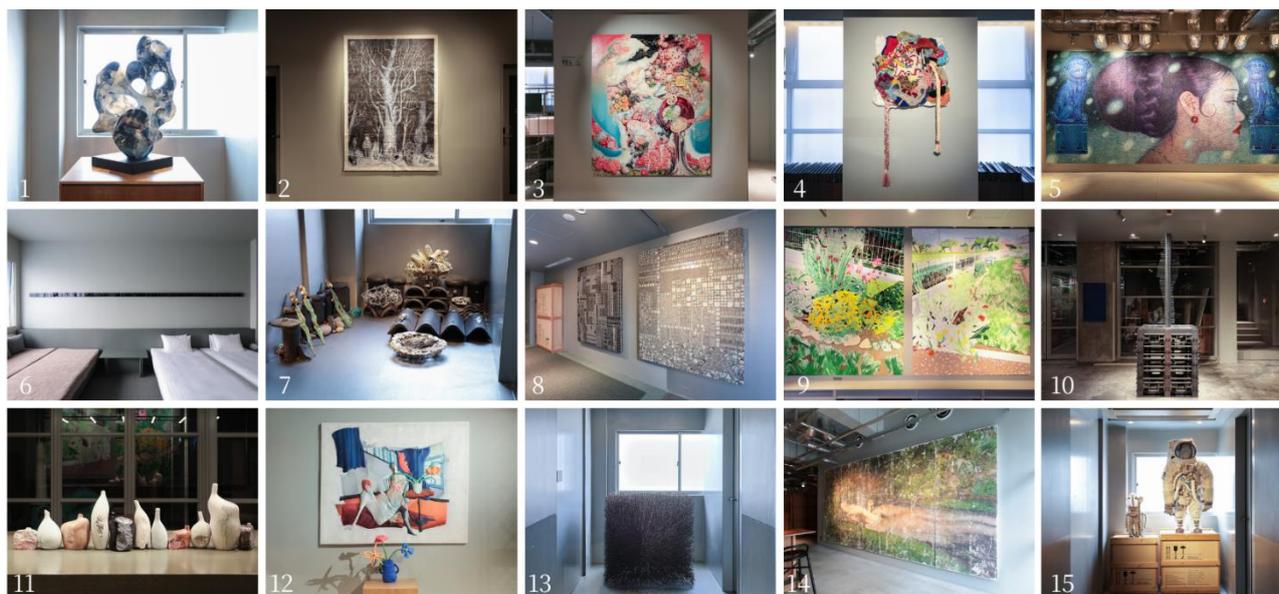
Tel:070-7514-6996 Mail: pr@rebita.co.jp

■ 入選作品と収蔵展示について

受賞 3 作品に加え、12 点を入選作品として選出いたしました。2026 年 3 月より約 2 年間、本施設共用部及び一部客室内で収蔵展示いたします。(五十音順。番号は画像番号)

※13~15 は『KAIKA TOKYO AWARD 2024』の受賞作品で、引き続き当館で収蔵展示いたします。

- 1) 「Flowing shape」大井 真希
- 2) 「森のメロディ」大河原 健太
- 3) 「やっとあえたね。」桂 典子
- 4) 「No.0054」SHOTO KOHAGURA
- 5) 「“前後の吉凶がどうであれ、最後は悔いのない幕引きを”」坂本 那々莉
- 6) 「一線」高橋 呼春
- 7) 「還る日までの庭」寺内 木香
- 8) 「黒/霧の間 白/スコールの跡」TOON/陶音
- 9) 「迷子の風景 No.243」長谷川 彩織
- 10) 「あrawし彫刻」村上 直樹
- 11) 「揺らめきの瓶」山本 恵海
- 12) 「心地の在処」余宮 飛翔
- 13) 「MASS」戸張 花 ※KAIKA TOKYO AWARD 2024 大賞
- 14) 「Transition #Ophelia」倉敷 安耶 ※KAIKA TOKYO AWARD 2024 秋元雄史 賞
- 15) 「Apollo 11_Ham the Chimp」足立 篤史 ※KAIKA TOKYO AWARD 2024 山峰潤也 賞



■ 『KAIKA TOKYO AWARD 2026』開催概要

『KAIKA 東京』では、才能あるアーティストを発掘することを目的に『KAIKA TOKYO AWARD』を 2 年に 1 度開催しています。本アワードは、芸術・文化支援による豊かな社会づくりの取り組みとして、メセナ活動認定制度『This is MECENAT 2025』に認定されています。

- ・応募期間 : 2025 年 12 月 9 日 (火) ~2026 年 2 月 8 日 (日)
- ・審査員 : 秋元 雄史 (東京藝術大学名誉教授)、黒澤 浩美 (東京藝術大学特任教授)
- ・企画運営事務局 : 株式会社 artness
- ・主催 : 株式会社リビタ

KAIKA 東京へのお問合せ、ご質問、取材のお申込み
画像・素材のお貸し出し
株式会社リビタ ホテル事業部 平賀
Tel:070-3873-5075 Mail: pr-kaika@thesharehotels.com

リビタへのお問合せ、ご質問、取材のお申込み
画像・素材のお貸し出し
株式会社リビタ PR コミュニケーションデザイン部 中田・石川
Tel:070-7514-6996 Mail: pr@rebita.co.jp

■ 『KAIKA TOKYO AWARD』の特徴

1 | 365日、作品が社会と接し続ける仕組み

今年で4回目を迎えた本アワードは、累計応募総数が1,166点となり、多様なアーティストの登竜門として認知が広がってきました。単に賞を授与するだけでなく、選出作品を約2年間にわたり館内で収蔵展示するのが特徴です。国内外から年間5万人以上※が訪れるホテルという特性を活かし、多様なゲストとの出会いが生まれています。※2025年1月～12月の実績合計（延べ宿泊者数）です

2 | 実例につながるキャリア形成支援

館内展示をきっかけとした作品購入や、他施設での展示・芸術祭への参加など、具体的な展開事例が生まれています。展示期間中の外部出展や販売も柔軟に認めており、アーティストの活動機会を広げる仕組みを整えています。

3 | 大型作品の保管・展示という課題へのアプローチ

元倉庫を活かした収蔵展示空間と長期的な作品公開は、特に大型作品に取り組む作家にとっても貴重な表現の場となっており、次世代の創作活動を支える一助として機能しています。

【KAIKA TOKYO AWARD 受賞作家・河合 真里氏インタビュー公開】

2022年の本アワードで小山登美夫 賞を受賞し、4年間の展示とGALLERY ROOM・A（KAIKA 東京 1Fのアートギャラリー）での個展を終えた河合 真里氏のインタビュー記事を公開しました。

「受賞で終わらない。KAIKA TOKYO AWARD がひらく作家の可能性」

<https://www.thesharehotels.com/talks/2806/>



■ 『KAIKA 東京』について

『KAIKA 東京 by THE SHARE HOTELS』（※1）は、アート作品を公開保管するアートストレージとホテルが融合したコンテンポラリーアートの新しい拠点です。元倉庫ビルをコンバージョンした空間に、アートギャラリー（※2）のための9つのアートストレージと、一般公募『KAIKA TOKYO AWARD』により集められた作品を収蔵展示し、アートシーンの舞台裏のような場で国内外のゲストに新しい鑑賞体験を提供しています。

※1：『KAIKA』という名称には見せる収蔵庫を意味する「開架」という意味に加え、日本のアート文化を広め「開化」させたい、アーティストの才能「開花」をサポートしたいという思いが込められています。

※2：ArtSticker ,CLEAR GALLERY TOKYO, PARCEL, TOMIO KOYAMAPRIVATE, VOILLD, Yoshimi Arts, YUMIKO CHIBA ASSOCIATES（アルファベット順・2026年3月現在）



左：1Fアートストレージ 右：客室の一室 Photo by Takumi Ota

KAIKA 東京へのお問合せ、ご質問、取材のお申込み

画像・素材のお貸し出し

株式会社リビタ ホテル事業部 平賀

Tel:070-3873-5075 Mail: pr-kaika@thesharehotels.com

リビタへのお問合せ、ご質問、取材のお申込み

画像・素材のお貸し出し

株式会社リビタ PR コミュニケーションデザイン部 中田・石川

Tel:070-7514-6996 Mail: pr@rebita.co.jp

- ・施設名 : KAIKA 東京 by THE SHARE HOTELS (読み : カイカ トウキョウ バイ ザ シェア ホテルズ)
- ・開業日 : 2020 年 7 月 15 日
- ・所在地 : 東京都墨田区本所 2-16-5
- ・交通 : 都営浅草線「浅草駅」徒歩 8 分、「本所吾妻橋駅」徒歩 9 分、都営大江戸線「蔵前駅」徒歩 9 分
- ・客室数 : 73 室
- ・定員 : 239 名

THE SHARE HOTELS について

株式会社リビタが 2016 年 3 月よりスタートしたライフスタイルホテルブランド。2016 年の第 1 号店『HATCHI 金沢』をはじめ、2017 年『LYURO 東京清澄』『HakoBA 函館』『KUMU 金沢』、2018 年『RAKURO 京都』、2019 年『TSUGU 京都三条』『KIRO 広島』、2020 年『KAIKA 東京』を開業し、2021 年 9 店舗目となる『MIROKU 奈良』が開業しました。

「SHARING WITH LOCALS」

THE SHARE HOTELS は、「地域との共生」を目指すホテルブランドです。

私たちは日本各地の文化を担うプレイヤーたちと共にホテルをつくり、人々が集う活動の受け皿として、地域に開いた場づくりをしています。ここを訪れると、地域の今の空気を感じられることはもちろん、人々との出会いがあり、ときにユニークなイベントにも参加できるでしょう。

地域との多様なシェアリングによってその魅力を集め、伝え、そして再び地域に還元しながら、新しい文化づくりに貢献しつづけること。それが私たちの目指すホテルのかたちです。

■ 『KAIKA 東京』メディア向けアートツアーのご案内

2026 年 4 月 9 日 (木)、『KAIKA 東京』にてメディア関係者様を対象とした館内アートツアーを開催いたします。本ツアーでは、『KAIKA TOKYO AWARD 2026』にて新たに選出された 15 作品をはじめ、アートストレージや前回の『KAIKA TOKYO AWARD 2024』受賞作品など、収蔵と展示が共存し変化し続ける当館の最新の様子をご案内いたします。ご出席いただける場合は、下記申込みフォームにてお申込みをお願いいたします。

【開催日時】 2026 年 4 月 9 日 (木) 11:00 / 13:30 開始

【所要時間】 各回 1 時間程度を予定

【集合場所】 『KAIKA 東京』地下 1 階集合 | 東京都墨田区本所 2 丁目 16-5

【アクセス】 都営浅草線「浅草駅」徒歩 8 分、「本所吾妻橋駅」徒歩 9 分、都営大江戸線「蔵前駅」徒歩 9 分

【概要】 担当者によるプロジェクト説明 / 施設・展示アートツアー

【参加予約】 下記申込みフォームにて 4 月 8 日 (水) 18 時までに申込みをお願いします。

<https://forms.gle/jqkv59uWuUBPu68J8>

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

株式会社リビタについて

社会や暮らしをリノベーションし、あなたと環境にとって豊かな未来をつくる会社として設立。「次の不動産の常識をつくり続ける」を経営ビジョンに掲げ、マンションの一棟・一戸単位でのリノベーション分譲をはじめ、コンサルティング、投資事業、シェア型賃貸住宅や商業・公共施設、ホテル・オフィスの企画・運営、PM・サブリースなど多岐にわたる事業を展開しています。

これまでに69棟の実績をもつ一棟リノベーション事業をはじめ、会員数約8,335名を擁し、都心邸宅地に位置する100平米超の低層マンションを提供する高価格帯リノベーション分譲事業『R100 tokyo』の企画・供給を行っています。シェア型賃貸住宅『シェアプレイス』は都内近郊に20棟1,464室、企業寮・社宅は1,371室を管理・運営しています。そのほか、横浜市との公民連携プロジェクトである街のシェアスペース『BUKATSUDO』や新たな“SHAKO（社交）”がうまれるコミュニティスペース『SHAKOBA』といった人と活動が交わる場づくりの企画・プロデュース・運営にも取り組んでいます。また、全国に9店舗を展開するライフスタイルホテル『THE SHARE HOTELS』や、暮らしを自由にするオフィス『12』シリーズなど、暮らしの概念を「住む」「旅する」「働く」「集う」といった領域へと広げるプロジェクトを幅広く手がけています（2026年2月時点）。

名称 : 株式会社リビタ
設立 : 2005年（2012年より京王グループ）
代表取締役社長 : 長谷川 和憲
住所 : 東京都目黒区三田 1-12-23 MT2 ビル
URL : <https://www.rebita.co.jp>